

キャラクター名 宇賀津翼	プレイヤー名
-----------------	--------

シンドローム	バロール		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	UGN支部員
	バロール					
オプション			年齢	21	性別	男
覚醒	探求	衝動	嫌悪	初期侵食率	29	%
出自	結社の一員	経験	禁断の愛	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	0	0	1			1	行動値	12
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	12
精神	4	1	3			8	戦闘移動	17
社会	2	0	0			2	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
形無き鳥籠	RC	8r+3				インビジブルハンド+魔神の心臓

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
父 (FH研究員 宇賀津翼)	P 懐旧	N 侮蔑			
幼馴染 ("単独飛行"真間心乃)	P 好意	N 偏愛			
"リヴァリアサン"霧谷雄吾	P 感服	N 悔悟			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
インビジブルハンド	1	3	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果: 射撃攻撃 飛行状態解除 1ラウンド中1回								
冥界の檻	1	5	オート	視界	単体	対決	-	
効果: 射撃攻撃 移動を失敗させる 1シーン1回								
灰色の庭	3	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の【行動値】-[LV*3]								
魔神の心臓	1	4	メジャー	-	-	対決	100↑	
効果: ラウンド間対象の判定ダイス-[LV:3]								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 判定を失敗させる 1シナリオ1回								
ダークマター	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: メインプロセス中の判定ダイス+LV								
ゴズミックインフレーション	2	2	セットアップ	-	範囲(選択)	-	ピュア	
効果: 対象を範囲(選択)に 1シナリオLV回								
ポケットディメンション	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: あり得ない空間を作り出す								
魔王の玉座	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 空中を浮揚する								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「じゃあ、今の私たちの自由はどうなるの?」

あの日の彼女の言葉を、今でも昨日のこのように思い出す。それでも、

「君が誰にも咎められずに飛べる世界を作りたいんだ」

この思いは変わらない。

\*

支部の自室、その窓から見える夜空をぼんやりと眺めながら彼女の顔を思い出す。

真間心乃。FHの構成員を両親に持って生まれてしまった俺にとって唯一の同じ歳の友達で幼馴染。彼女の両親もFH構成員で、俺は彼女と遊ぶために興味もないのに「レネゲイドの話が聞きたい」と親にせがんでFHの支部に同行していた。そういえば支部内を彼女とふたりで歩き回ってはすれ違う支部員たちに「おおきくなったらオーヴァードになってふたりでチームをくむんだ」なんて言ってたこともあったような気がする。

少し大きくなって普通の子どもたちが学校とやらに通うくらいになる頃、俺の父を教師役にした座学の授業が始まった。父は一貫して「オーヴァードには自分の力を自由に使う権利がある」、そして「人間との共存などという綺麗事のためにオーヴァードを抑圧するUGNは間違っている」ということを俺たちに言い聞かせていた。まだ幼かった俺たちはすっかり信じきって「チームを組む」という夢に「UGNの抑圧からオーヴァードを解放する」ことを付け加えるようになった。

その夢への一歩を先に踏み出したのは、心乃の方だった。俺たちが12歳のとき、彼女がオーヴァードへと覚醒した。彼女の覚醒のきっかけは支部で保護されたオーヴァードの姿を見たことだった。俺たちより少し年上の彼は、学校でのいじめに耐えかねて能力を使って同級生を傷つけたらしい。「どうして自分を傷つける人に対しても力を使っちゃいけないんだろう」そう呟いた悲しげな彼女の顔を今でも覚えている。キュミイラとエンジェルハローウのクロスブリード。輝く翼